

続けられるひと手間で生ごみ減量

生ごみの水分をひとしぼり！

生ごみは、およそ85%が水分です。

燃えるごみ10,290トンのうち、生ごみ等水分を含むごみは約6,000トンです。この生ごみのおよそ85%(5,200トン)が水分です。(令和2年度調べ)
実は、**生ごみの水きりをするだけ**でごみの減量が出来てしまうだけでなく、より少ないエネルギーでごみ処理ができるようになります。

生ごみは、ひとしぼり、ふたしぼりと水分をよく切ってから出しましょう。

生ごみ減量チャレンジ

しぼる

お茶がらやティーパックなど、水分がとても多いものは、絞ることがとても重要です。ぎゅっとひとしぼりしてから捨ててみましょう。

生ごみのネットを素手で絞るのは抵抗があるかもしれませんが、生ごみを捨てる際に、シンクにひと押し、ぎゅっと押し付けるだけでもだいぶ水分が切れます。チャレンジしてみませんか？



水に濡らさない

水分

とても簡単で効果的！

まずはここからはじめてみませんか？



野菜は洗う前に皮むきをしましょう。
むいた皮はザルなどに入れ水に濡らさないようにします。
玉ねぎの皮など、初めから乾いている生ごみも三角コーナーに捨てずにザルなどに入れて水に濡らさないようにして捨てると、生ごみの悪臭や腐敗防止にもなりますよ。

乾かす

ちょっと、ひと手間！

晴れた日は室外の風通しの良いところに置いておく素早く乾燥できます。



野菜くずや果物の皮は、食品トレーや新聞紙の上のせて乾燥。



スイカの皮など厚みのあるものは、細かく切ると乾燥しやすくなります。



しぼったあとのお茶がらやティーパックも乾燥させるとさらにごみ減量できます。



袋から出して天日で1日乾かすと...



草を袋から出さずに、ごみ袋を開いた状態で2~3日天日で乾かすだけでも減量効果があります。

雑草は乾燥させてごみ袋も節約！

電動生ごみ処理機を使ってみませんか？

生ごみの水分をなくすことで、ごみの量が減り、ごみ袋の節約にもなります。

こんな取り組みもあります

花苗交換システム

電動生ごみ処理機から生成される残さ物を、みつつけイングリッシュガーデン管理棟脇の回収ボックスにお持ち込みいただくと、生ごみの量に応じて**花苗と交換**することができます。

※花苗交換時期は毎年6月と10月を予定しております。



乾燥生ごみは有機質肥料になるため、ガーデニングをされている方にもおすすめ！

補助制度あり！

※詳しくは市ホームページをご覧ください

- 補助額：購入費の2分の1(100円未満切り捨て)
- 上限額：30,000円



見附のイメージキャラクター ミツケ

ここはエコのど真ん中

発行・編集
見附市 市民生活課

〒954-8686

新潟県見附市昭和町2丁目1番1号

TEL：0258-62-1700

FAX：0258-62-7062

E-mail：

shiminseikatsu@city.mitsuke.niigata.jp

みんなで省エネ！

夏の節電に...

適正な室温は28℃が目安！



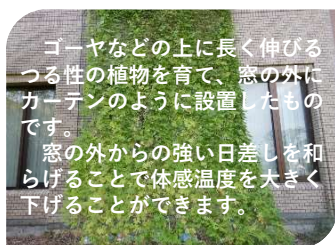
ご家庭の電気製品の中でも、エアコンは特に消費電力が大きい！



カーテンで窓からの強い日差しを和らげ、扇風機もいっしょに使えば、冷房効率が上がります◎

市役所庁舎では、夏の省エネ対策として、グリーンカーテンを設置しています。(アルカディア側の窓)

グリーンカーテンとは？



ゴーヤなどの上に長く伸びるつる性の植物を育て、窓の外にカーテンのように設置したものです。

窓の外からの強い日差しを和らげることで体感温度を大きく下げることができます。

夏も! 熊にご用心!

熊の出没といえば、春と秋?

見附市では、4月から熊の目撃情報が報告されています。登山やキャンプの際はもちろんのこと、農作業中や、ウォーキングなどで山林に近い場所や人通りの少ない場所を歩く際など、十分注意しましょう。

●集落や市街地にクマが出没したら?

周辺の住民にも知らせ、近づかないよう安全確保をしてから、クマの出没を警察署、市役所に連絡をお願いします。目撃した日時・場所、頭数、大きさ、逃げた際の方向など、わかる範囲でお知らせください。



見附警察署：0258-63-0110
見附市役所：0258-62-1700

クマ対策のポイント

クマが出没した場所をチェック



県・市町村のホームページで地域の目撃情報を確認

見附市クマ情報



見附市ホームページ

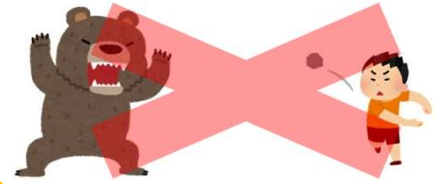
<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/>

県内のクマの出没情報はこちら

にいがたクマ出没マップ

検索

クマを刺激しない



子グマをみたら立ち去る

※ゆっくりとあわてずその場を離れましょう



近くに母グマがいる可能性があります

音の鳴る物やクマよけスプレーなどを携行



作業中はこまめに周囲を確認

入山前の爆竹や作業中にラジオを鳴らす等、人の存在を知らせましょう。こまめに周囲の様子に気を配りましょう。



クマを引き寄せない環境づくり

★生ごみ等の誘引物は適切に処理しましょう

生ごみ、農作物や果実は人家の周りや農地に放置しないで適切に処理をしましょう。餌の存在が、クマが出没する原因となります。

★ごみは持ち帰りましょう

キャンプやバーベキューなどで出たゴミは、必ず持ち帰りましょう。ポイ捨てされたお弁当の容器や食べ残しは、クマを引き寄せる原因となります。



早朝・夕方の時間帯は、熊の活動が活発です。特に気を付けましょう。



犬だって社会の一員です。住民の皆さんのご迷惑になりたくないわん!



そうなんだ!?

今どきは、おうちで済ませる

散歩に行く前に自宅敷地内を歩かせ、自宅の決まった場所で排泄をしたらほめ、それから散歩に行くようにするとしつけることができます。

メリット 1

近所迷惑にならない
他の住民の玄関先や敷地前を汚すことがなくなり、お互いに気持ちよく犬のお散歩を見守ることができます。

犬のフンの始末は飼い主の責任です

道路、玄関先、公園など、犬のフンで迷惑を受けている人は少なくありません。

フンを始末するということは犬を飼ううえでの大切なマナーのひとつです。

犬も飼い主さんも、お散歩コースにいる住民の皆さんも、一緒に気持ちよく生活できるように、飼い主さんはお散歩のマナーについて、いま一度考えましょう。

きれいな街でのお散歩はとても気持ちがいいですね!



メリット 2

ふん尿の始末がないので安全に散歩できる

道路など公共の場所を汚すことがないだけでなく、車の通行を心配しながら路上でウンチを拾う必要がなくなります。

メリット 3

散歩の時間やタイミングが自由になる
自宅の決まった場所で排泄をする習慣をつけると、お散歩中に排泄することがなくなり、お散歩もより一層楽しくなります。